

华中科技大学

二〇〇三年招收硕士研究生入学考试试题

考试科目: 日语

适用专业: 外国语言文学及应用语言学

(除画图题外, 所有答案都必须写在答题纸上, 写在试题上及草稿纸上无效, 考完后试题随答题纸交回)

一、文字、語彙 (15点)

(一) 次の漢字の読み方を平仮名で書きなさい。(5点)

¹世話 ²写真 ³調味料 ⁴駅前 ⁵順番
⁶眠る ⁷払う ⁸親しい ⁹握る ¹⁰派手

(二) 線を引いたところの仮名を漢字に直しなさい。(5点)

- 1、李さんは「あさって 1 はなみに行きませんか」と 2 さそいました。
- 2、3 つかれたので一眠りしてから 4 しごとをしますよ。
- 3、5 にちようび友達の家 6 とまりました。
- 4、うっかり 7 でんしゃの中に傘を 8 わすれてしまいました。
- 5、日本では 9 やきゅうほど人々から 10 よろこばれるスポーツはありません。

(三) 次の文の___の中に適当なものを1—4から一つ選びなさい。(5点)

- 1、雨が降りそうだし___少しつかれたので今日は早く帰ります。
1 それで 2 そこで 3 それに 4 そこに
- 2、「あなたの___はなんですか。」「切手を集めることです。」
1 趣味 2 興味 3 意味 4 理想
- 3、校へ行きました。___本屋へ行きました。
1 それから 2 そして 3 すると 4 それで

- 4、父の病気が_____て食事もしたくありません。
 1 気が散っ 2 気がし 3 気になっ 4 気にかっ
- 5、日本語辞典では 言葉は五十音図_____「あいうえお」の順に並べてあります。
 1 一方 2 すると 3 さて 4 すなわち
- 6、お土産屋で買っても_____駅の売店で買っても値段は同じでしょう。
 1 あるいは 2 または 3 それとも 4 また
- 7、大学をしてから_____大学院に進んで研究を続ける人もいます。
 1 うっかり 2 思わず 3 さらに 4 知らないうちに
- 8、ご恩は_____忘れません。
 1 けっして 2 かならず 3 ぜったい 4 ぜひ
- 9、問題は_____解決された。
 1 それほど 2 なるほど 3 ほんとう 4 ほとんど
- 10、_____をみて注文する。
 1 メディア 2 メニュー 3 メンツ 4 メドック

二、文法 (25点)

次の文の_____には どんな言葉を入れたら いいか。1—4から適当なものを一つ選びなさい。

- 1、日本語で歌える_____ために毎日練習しています。
 1 ことになる 2 ようになる 3 ことにする 4 ようにする
- 2、雨が降っている_____傘を持たないで出かけました。
 1 ので 2 から 3 のに 4 ながら
- 3、高さんはお医者さんに診察して_____ました。
 1 もらい 2 あげ 3 ください 4 さしあげ
- 4、日本で生活_____うちにお寿司が好きになりました。
 1 する 2 した 3 している 4 すれば
- 5、先に電話をかけて_____て友達を訪ねるほうがいいでしょう。
 1 おい 2 あっ 3 しまっ 4 み
- 6、今日遅くまで働いたので すっかりつかれて_____。
 1 た 2 おいた 3 しまった 4 いた
- 7、今晚寒くなり_____だから ふとんを用意するほうがいいです。
 1 そう 2 よう 3 う 4 らしい
- 8、帽子をかぶったまま あいさつを_____ください。
 1 しなくて 2 しなくて 3 ずに 4 ずで
- 9、簡単に見えますが すぐに できる_____。
 1 とはかぎりません 2 に違いない
 3 かもしれない 4 ことになる

- 10、久しぶりにあったのですから食事____しながら話しましょう。
1に 2だけ 3でも 4も
- 11、宿題____遊びに行ってもいいですよ。
1さえできて 2さえできたら 3まで 4もすると
- 12、交通の発達____いろいろな問題もできました。
1にとって 2とともに 3によって 4に対して
- 13、あなたは兄さんだから 弟に貸して____なさい。
1もらい 2くれ 3やり 4いただき
- 14、あの人はアメリカ人の____上手に英語を話します。
1くせに 2ように 3ことに 4ものに
- 15、医者へ行くと薬を____のでいやです。
1飲まさされる 2飲まされる 3飲ませる 4飲まれる
- 16、今年百年____のあつさです。
1だけ 2まで 3ぶり 4まま
- 17、ここでちょっと____てください。
1お待ってください 2お待ちにし
3お待ちになっ 4待ちいたし
- 18、どんなに勉強し____日本人のように日本語が話せません。
1たら 2くて 3ても 4たら
- 19、王さんは病気で欠席____。
1することはない 2したことはない
3することはない 4することがない
- 20、成績____クラスを分けます。
1にとって 2について 3に対して 4によって
- 21、朝と晩は寒____でございます。
1い 2もう 3う 4くて
- 22、まだ熱がありますから 今日も 休____。
1ませていただきます 2んでもらいます
3んでください 4みになります
- 23、銀座のデパートでは買え____。
1るものはない 2ばない
3ないものはない 4てもいい
- 24、そんなことをすると子供____笑われますよ。
1にまで 2までに 3まで 4まで
- 25、試合はこれから____です。
1始まったところ 2始まるどころ
3始まっているところ 4始まったころ

三、読解 (25点)

(一) 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。(15点)

①①親友とは何か。自分のいちばん親しい友だちというものはどういう友だちであるか。私の考えによると、いちばん親しい友だちというのは、いちばん深い孤独を与えてくれる友だちだ。

②友情を結んだときの経験をとくと考えてみるとわかるように、昨日まで他人であった人間といきなり親しくなる。あるいは徐々に親しくなる。そういう場合、何が機縁となって親しくなるかといえば、言うまでもなくお互いに似たような運命や問題をもっていることだ。[A]、お互いにその問題はわからない。つまりお互いに未知の世界の前に立っている。②その門口で心が触れあったとき、はじめて友情というものが結ばれるのである。お互いに相手の考え方や運命がわかってしまったら、[B]われわれは友だちになれないだろう。どうにも解決のできないさまざまの世界をもっているからこそ友だちになるのだ。互いに見知らぬ二つの生命の接触と燃焼と——この真剣ないのちの交差に友情は成り立つ。

③われわれを甘やかしてくれる者は決して良友ではない。よく理解してくれようとすることは悪いことではないが、それだけでほんとうのいい友だちにはなれない。[C]、いい友だちというものは、③わからないところはどこまでもわからないものとしてお互いに追究しあう。あるときは責めあう。[D]、意見の一致などということはない。一つの問題に対してさえ、どんなに二人が異なるかを身をもって知らされるような友情、それが尊いのである。

④④表面だけでひとと調子を合わせ、理解しあっているような顔をしているところに決して真の親しさは起こらない。だから、ほんとうの友情というものはかえってつらいものなのだ。

【問1】——線①「親友」とは、どういう友だちのことか。次から筆者が述べている「親友」にあたるものを二つ選び、番号で答えなさい。

- (1) いちばん深い孤独を与えてくれる友だち。
- (2) 昨日まで他人であった人間と徐々に親しくなった友だち。
- (3) 相手の考えや運命をわかっている友だち。
- (4) 一つの問題についての二人の相違を知らせるような友だち。
- (5) よく理解してくれようとする友だち。

【問2】[A][C][D]のそれぞれにあてはまる接続の語句を、次から一つずつ選び、番号で答えなさい。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| (1) つまり | (2) そして | (3) しかも |
| (4) だから | (5) しかし | (6) または |

【問3】[B]にあてはまる最も適切な言葉(副詞)を、第④段落の中からそのまま抜き出して、4字以内で書きなさい。

【問4】——線②「その」は、何を指しているか。次から最も適切なものを一つ選び、番号で答えなさい。

- (1)運命や問題(の) (2)何かの機縁(の)
(3)未知の世界(の) (4)生命の接触と燃焼(の)

【問5】——線③「わからないところはどこまでもわからないものとしてお互いに追究しあう。あるときは責めあう。」と同じ内容を述べている一文を第④段落からさがし、初めの5字を書きなさい。

【問6】——線④「表面だけでひとと調子を合わせ、理解しあっているような顔をしている」交わりとは、どういう交わりのことか。次から最も適切なものを一つ選び、番号で答えなさい。

- (1)いつでもふざけあっている交わり。
(2)よそよそしく形式的な交わり。
(3)問題があっても、それを解決しようとしないう交わり。
(4)互いの考え方の相違には触れない交わり。

【問7】「友情」についての筆者の考えを、35字以内にまとめて書きなさい。

(二) 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。(10点)

「うそ」というものは、心理学的には、人間が、心のなかでは、ひとつのことを考えながら、他方では他のことを行動するという現象である。

子どものうそは、子どもが、「内と外」、内部の心理的世界と、外部の世界との区別を知ることと、密接に関連している。うそをいえるという能力の進展なくしては、「内と外」との区別は不可能であるといつてよい。

[A]、能力があることは、それを現実に行使することを意味するものではない。しかし、子どもにおいては、うその能力は、すくなくとも数回または数十回、じっさいにうそをいう、という体験をともしなうものにちがいない。そうして、このよううそをいう体験をとおして、「内と外」とが、子ども自身のものになっていくのである。

日本では、これははじめ、まず「よそいき」のようす、態度となって、あらわれるのではないかとおもわれる。親は、子どもをつれて、客によばれていくときには、「おとなしくするのですよ」とか、「へんなことをいうのじゃありませんよ」とかいつて、きとす。これは、子どもには、「内と外」との区別を知る①きっかけになるものようである。

だが、②このような行為は、「ウソ」であるが、これは、社会生活にとって、有害なものであるか。[B]そうはいえない。内と外というものは、人間が、社会生活に[C]達成した、ひとつの進歩であり、それによって、人間は、社会生活を、なめらかに進行させていくことができているのである。

人間がみんな、③「内」で考えることを、そのままの形で、「外」に出していたら、どうなるであろうか。[D]、人間社会は、野獣のあつまりにことならないものになるであろう。

【問1】文中の[A]～[D]に入れるのに最も適当なものをa～dの中から一つ選びなさい。

(1)[A]

a.すると b.たとえば c.とにかく d.もちろん

(2)[B]

a.いっさい b.けっして c.とうてい d.なかなか

(3)[C]

a.おいて b.関して c.対して d.とつて

(4)[D]

a. おそらく b. 必ずしも c. たしか d. たとえ

【問 2】①「きっかけ」ということはが正しく使われているものを、(1)～(4)の中から一つ選びなさい。

- (1) あせらなくても、きっかけが来たら、自然にわかるようになる。
- (2) 君のきっかけがなかったら、僕は成功しなかっただろう。
- (3) ゴルフがきっかけで私たちは話をするようになった。
- (4) がけくずれがきっかけで大雨になった。

【問 3】「このような行為」とは、どのような行為か。(1)～(4)の中から一つ選びなさい。

- (1) 親が子どもにウソをつくこと
- (2) 親が子どもをよそに連れていくこと
- (3) 親が子どもによそいきの態度を教えること
- (4) 親が子どもにウソは悪いことだとときとすこと

【問 4】「内」で考えることを、そのままの形で、「外」に出していたら」とは、どういう意味か。(1)～(4)の中から一つ選びなさい。

- (1) 正直すぎたら、ということ
- (2) ウソをついたら、ということ
- (3) 内と外を区別したら、ということ
- (4) よそいきの態度で接したら、ということ

【問 5】この文章と合うものを、(1)～(4)の中から一つ選びなさい。

- (1) 子どものウソは、大人のように有害ではなく、罪のないものである。
- (2) ある意味で、ウソというものは、人間の社会に必要なものである。
- (3) ウソの能力なくしては、人間の社会生活の進歩発展はありえない。
- (4) 「内」と「外」の区別は有害であることを、子どもに教える必要がある。

四、次の中国語を日本語に訳しなさい。(15点)

1. 那样努力, 却还是失败了。
2. 到了下午开始下起雨来了。
3. 如果早点去的话也许能赶上。
4. 我想爱喝酒的人一般都能喝。
5. 坐飞机去还是坐新干线去, 请在星期三之前决定。

五、次の文章を中国語に訳しなさい。(10点)

人生

私は一本の長い階段を設ける。一年三百六十五日経つと、一段上へのぼる階段である。その階段の六十八段目の一番上のところに私が腰を降ろしている。そして妻、二人の息子、二人の娘、その配偶者、そして孫たちというように、長い階段のところに、十何人の男女が配されている。下から二段めのところに、去年(昭和四十八年)生まれた。幼児二人が転がらないように紐で結び付けられている。どちらも男の子である。まだ這うこともできず、口もきけない。しかし、何と云っても、この嬰兒二人が際立って浼刺(精力充沛)としている。これから何十段でも階段をのぼって行くエネルギー(能量)を、その小さい体に詰め込み、いかなることでも実現できる可能性を身内に貯えている。まだ人生のいかなる汚れにも染まっていない。本能的に母を求め、乳を欲しがると以外、いかなる欲望も持っていない。人を羨むことも、人を憎むことも、関心を買うことも知らない。栄養も金も無関係である。時々笑うが、神様が笑うことの練習をさせているとしか思われたい。ただ無心に笑うだけである。

人間はみな、この嬰兒から出発している。そんな思いが突き上げてくる。この二人の嬰兒が、私の腰掛けているところまでのぼるのは、たいへんである嬰兒のいる二段目のところから上を仰ぐと、気の遠くなるような速さであろうと思う。三十段目から四十段めあたりにかけてばら撒かれている息子や娘たちは、いつか春春期をぬけて、壮年期に入ろうとしている。当然私などの知らないそれぞれの人生の哀歎を経験していることであろうと思う。わたしは残念ながら、そこへ入って行ってやることはできない。いかなる問題であろうと、それぞれ自分たちで処理してゆく他はない。父親が苦しんだように苦しまなければならないし、父親が悲しんだように悲しまなければならないであろうと思う。そういう自分で歩き、自分で処理していかなければならぬものが、人生というものであろうからである。

六、作文。(10点) (500字)

冬休み